



大庭トンネル (延長 749m) ~ トンネル掘削開始 ~

大庭トンネルは東から西に向かって掘り進めます。東側抗口は、現地盤から約20mの高さに位置するため、仮栈橋・仮設構台により工事用道路を確保する必要がありました。この度、工事用道路やバッチャープラントなどの仮設備の整備が完了したので、いよいよ10月よりトンネル掘削を開始しました。



トンネル掘削に先立ち、10月4日(土)に、東側抗口付近において、施工業者の安藤・間・森・吉田・但南特別共同企業体主催による安全祈願祭が地元関係者や工事関係者、約60名の出席のもと執り行われました。平成28年6月の完成を目指します。

浜坂道路 トンネル工事進捗状況 (平成26年9月30日 現在)

余部トンネル	(延長: 1,255m)	掘削済延長	-	858m
新桃観トンネル	(延長: 2,546m)	掘削済延長	-	2,158m
久谷第1トンネル	(延長: 859m)	掘削済延長	-	138m
久谷第2トンネル	(延長: 197m)	掘削済延長	-	197m
大庭トンネル	(延長: 749m)	掘削済延長	-	0m

貫通

新桃観トンネル (西工区) 工事 ~ 祝 2,158m 掘削完了! 工区境に到達 ~

新桃観トンネル(延長2,546m)の西工区の掘削作業「2,158m」が9月3日に完了しました。平成24年9月の掘削開始から約2年におよぶ掘削期間中、難航箇所もありましたが、事故もなく無事に工区境まで到達しました!...施工者の安藤・間・飛鳥・ノバック・株本JVさん 有り難うございました。

今後も引き続き、トンネル内の覆工コンクリートや排水工等の施工を進め、平成27年度末の完成を目指します。



山陰近畿自動車道フォーラム in 新温泉

7月26日(土)、山陰近畿自動車道「浜坂道路」の意義と道路開通後のまちの活性化を考える場としてフォーラムが開催され、約250人が参加しました。

パネルディスカッションでは、神戸大学の沖村名誉教授をコネクターに、各分野の代表と浜坂道路への期待と開通効果をにらんだ町づくり等について意見交換されました。



沖村名誉教授は、パネルディスカッションを通して、

「新温泉町という舞台のなかで、浜坂道路は大道具であり、舞台での主役は地域住民である。地域住民が今後の町づくりに、どのような希望や夢を描き、その実現に向けて浜坂道路整備がどう支援できるのかを考えていくことが重要となる。」とまとめられました。



浜坂道路II期計画検討懇話会を発足

山陰近畿自動車道のうち、新温泉町内で唯一未着手となっている新温泉町栢谷~居組間(浜坂道路II期)について、計画策定段階で住民や地元関係団体の意見を聞き、対応を検討するために、新温泉町山陰近畿自動車道整備推進協議会と兵庫県新温泉土木事務所は8月26日に標記の懇話会を設置しました。

これは左記の山陰近畿自動車フォーラムのパネルディスカッションにおいて、II期については「計画段階から地域の意見も聞きながら進める必要がある」との意見を受けたことに対応するためです。

今年度から来年度にかけて会合を重ね、概ねのルート帯検討の参考としていきます。